Livie
for Live House

出演者とのやりとりを、
ひとつのアプリに。

公演情報の共有・資料のやりとり・出演者探しまで。
ライブハウスの手数料は、かかりません。

ご案内・お申し込み
livie-app.com/lp/livehouse

公演のたびに

こんな手間、ありませんか

公演情報のテキストを作って、出演者に LINE で一組ずつ送る

```
タイトル：
日程：
OPEN / START：
ADV / DOOR：
出演者：
備考：
```

タイテやフライヤーを、出演者ごとに LINE で送る

出演が 5 組なら、同じ画像や PDF を 5 回送る。

セトリ・音源・セット図を、Google フォームやメールで集める

前日になってもそろわず、PA・照明への共有が遅れる。

取り置き表を、出演者に出してもらってまとめる

書き写して、当日の受付表を作る。

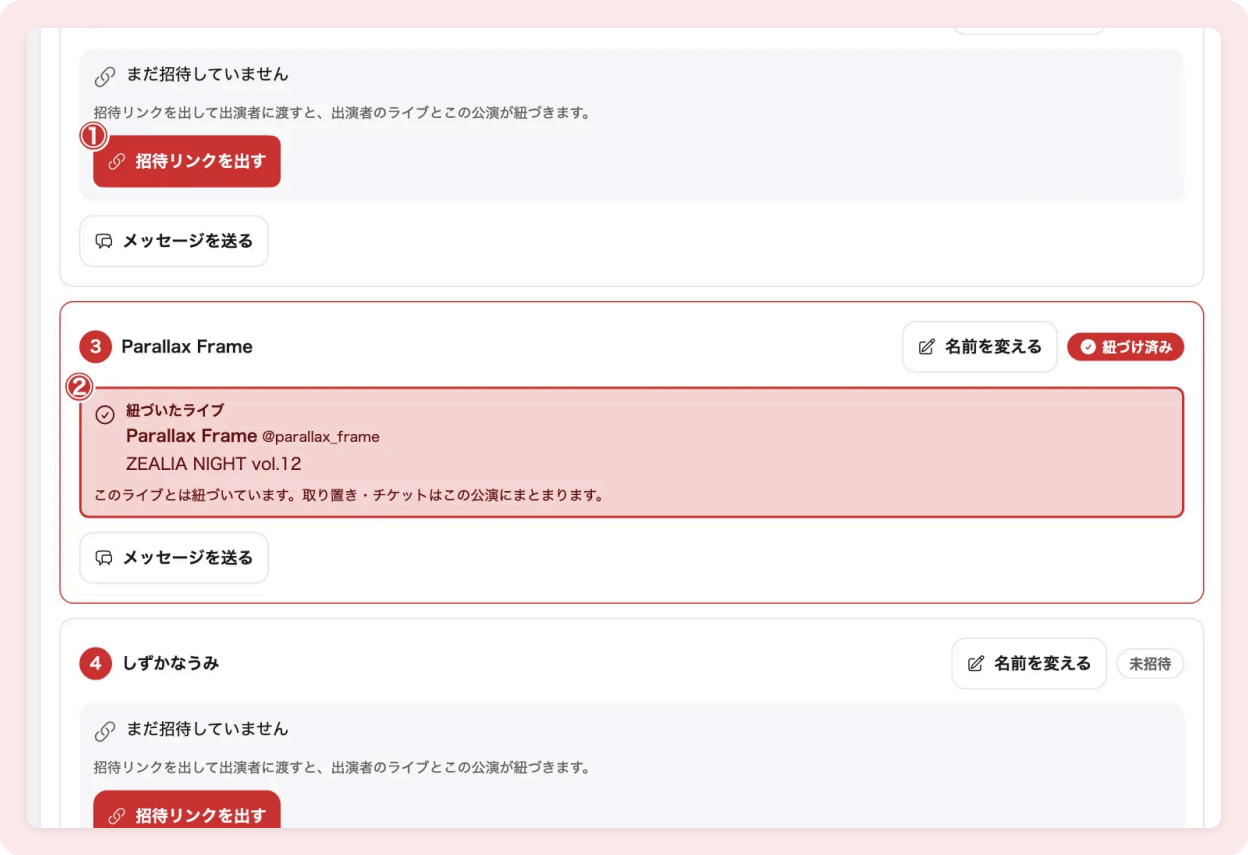
次に出てほしいアーティストは、人づてと SNS で探す

どこで活動している人か、すぐには分からない。

Livie を使うと、**このほとんどが要らなくなります。**

便利になること ①　公演の情報

出演枠に招待するだけで、公演の情報が出演者に届く



出演枠ごとに「招待リンクを出す」。承認されると「紐づけ済み」になり、紐づいたライブが出る

招待するだけ。2 回目からはアプリの中で

初めての出演者には、招待リンクを LINE や DM で一度だけ。一度出てくれた・紐づいたアーティストには、次の公演からアプリで招待を送れて、相手には通知で届きます。

公演情報のテキストが要らない

出演者が承認すると、出演者のライブの日時・会場・料金が、あなたの公演の内容にそろいます。

取り置き表の提出も要らない

出演者が受けた取り置き・ゲストは、公演に自動でまとまり、出演者ごとの数が並びます。

便利になること ②　出演者へ共有

タイテもフライヤーも、一回で出演者全員に



送り先を選んで「アプリで共有する」。ひとことも添えられる



送った履歴に、いつ・どの資料を・だれに送ったかが残る

一回で全員に届く

香盤・タイムテーブル・フライヤー・搬入案内。LINE で一組ずつ送らなくてよくなります。

送った記録が残る

いつ・どの資料を・だれに送ったかが公演ごとに残ります。間違えたら取り消せます。

アカウントがなくても渡せる

Livie を使っていない出演者には、ZIP や期限つきの共有リンクで渡せます。

便利になること ③　出演者から届く

セトリ・音源・セット図が、公演ごとに前もってそろう



公演の「資料」に、出演者ごとにまとまる。音源はその場で再生、ZIP でまとめて保存

Google フォームで集めなくてよい

出演者はアプリから送るだけ。届くと通知が来ます。

まだ見ていない資料が分かる

すべての公演の資料は「受信箱」にも並び、だれも開いていないものには「未確認」と出ます。

音響・照明スタッフも、各自で確認

お店の音響・照明スタッフは、自分のアカウントでログインして資料を見られます。スタッフの権限で見られるので、売上などは見せずに済みます。外部の PA さんには ZIP でまとめて渡せます。

便利になること ④　出演者を探す

出てほしいアーティストを、アプリの中で探して声をかけられる



活動拠点（都道府県）・ジャンル・名前で探す



プロフィール・これからのライブ・お知らせを見て「メッセージを送る」

地域とジャンルで探せる

都道府県とジャンル、名前・ID を組み合わせて絞れます。

活動の様子が分かる

これからのライブ・お知らせ・SNS・YouTube まで、アプリの中で確かめられます。

そのまま連絡できる

見つけたアーティストにメッセージを送れます。ブッキングの相談も、出演後の連絡と同じ場所に残ります。

お店と出演者に残るもの

お店が入れると、出演者も音楽に時間を使える

お店：出演者への連絡（1 年の試算）

約 72 時間 減



出演者：公演ごとの準備

告知文の打ち直し・セトリやセット図の用意・取り置き表づくりが減り、**1 公演 15 分ほど**。
月 4 本ライブするバンドなら、**1 年で約 12 時間**。スタジオ練習 6 回分くらいです。

このお店に出る出演者を合わせると、1 年で延べ約 300 時間

どれも**手を動かす時間だけ**の試算です。公演ごとに「あれを送らなきゃ」と抱えておく負担が減る分は、入っていません。

前提：月 20 公演・出演 5 組。お店は 1 回の送信 2 分（今は公演情報・タイテ・フライヤーを一組ずつ、Livie は招待 1 回 ＋ 一斉共有 1 回）。出演者の 15 分は仮定です

出演者にとって

準備より、音楽に時間を

事務作業が減った分を、曲づくりやリハ、ステージの演出を磨く時間に。出演者が喜ぶお店は、また出たいお店になります。

お店にとって

資料が前日までに

セトリ・音源・セット図がそろい、PA・照明の準備もリハ・転換も慌てません。取り置き表は自動でまとまります。

目指していること

出演者が使うほど、お店の集客にもつながる

Livie は、ライブの情報・資料・チケット・ファンとのつながりを一か所にまとめる、ライブ活動のインフラを目指しています。その真ん中にいるのが、毎晩ライブをつくっているライブハウスです。

① お店が公演を出し、出演者を招待

招待リンクを送るだけ

→

② 出演者がライブを告知

フォロワーに届き、ファンのカレンダーに入る

→

③ ファンが見落とさずに来る

取り置き・チケットは同じ公演にまとまる

→

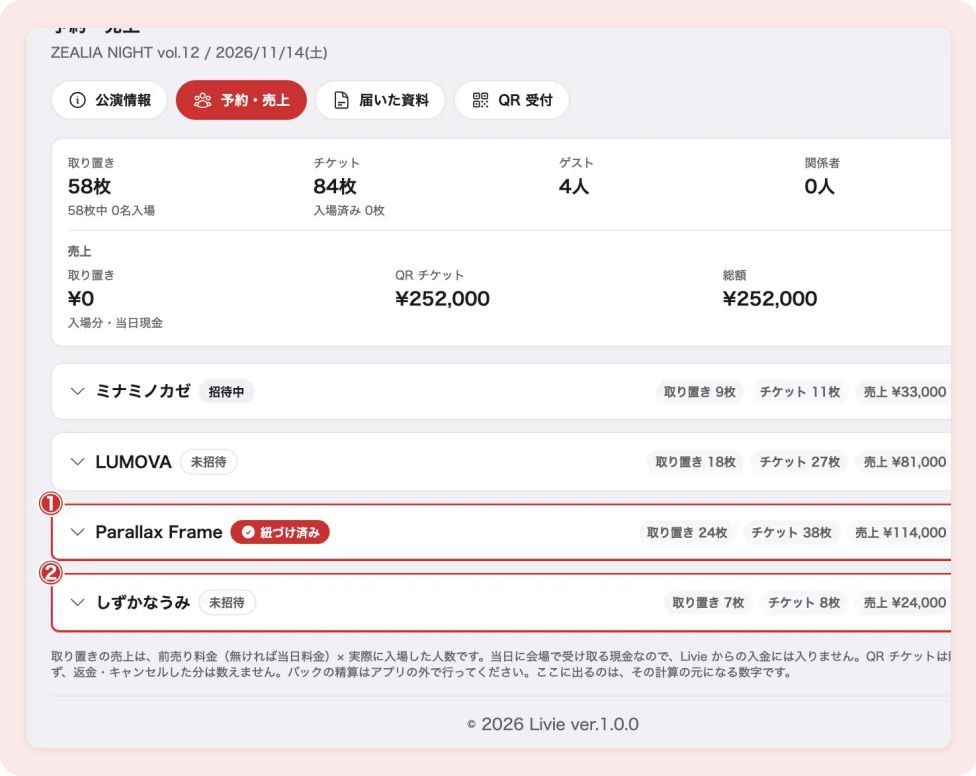
④ お店に通う人が増える

出たい出演者も増え、ブッキングが埋まりやすくなる

↻ **④ のあとは ① に戻って、もう一周。この輪の起点に、なってください。**

必要なら、こちらも

チケット・当日の受付・売上も、同じ公演で



出演者ごとの取り置き・チケット・入場・売上



スタッフのスマホで QR を読む

QR チケットの販売

前売・当日・先行・抽選・整理番号。会場ページからログインなしで見られます。

当日は QR を読むだけ

取り置き（当日精算）か支払い済みかがその場で分かり、二重入場もしません。紙の取り置き表も印刷できます。

出演者ごとの数字と入金

精算の元になる数字が出演者と同じ画面でそろいます。売上は開催日の 2 日後に送金、口座には 10 日後ごろ入金。

スタッフと系列店

お店の体制に合わせて使える

スタッフごとに、できることを分けられる

権限	できること
代表	管理者のできることすべて ＋ 契約ごとの退会（1 契約に 1 人）
管理者	公演・取り置き・売上、スタッフの招待と権限の変更、契約情報の編集
スタッフ	出演者の資料を見る・送る、当日の受付と取り置き表（許可すれば出演者とのメッセージも）

系列店は店舗ごとに契約

会場ページ・公演・売上・入金も店舗ごとに分かれます。

サーキットは 1 つの公演に

代表の店舗が作り、参加会場と出演者を並べます。資料と当日の受付は、出演する会場ごとに行えます。

費用

ここまでの機能を、手数料 0 円で

ライブハウスが払う費用はありません。合わなければ、やめても費用は残りません。

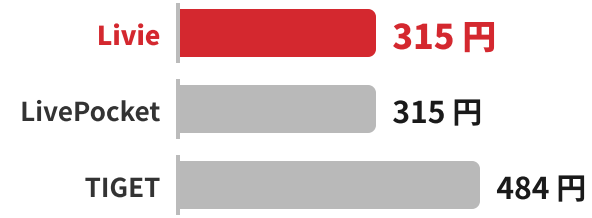
初期費用	月額	振込手数料
0円	0円	0円

手数料をファンが負担する、同じ条件で比べると

お店の負担（振込 1 回あたり）



ファンの負担（3,000 円のチケット 1 枚）



お店に入るのはチケット代の全額。ファンの手数料も、ほかのサービスと同じか、それより安くなります。
LivePocket：購入手数料 5% ＋ システム利用料 165 円、振込手数料 550 円。TIGET：販売手数料 5.5% ＋ 220 円 ＋ 電子チケットサービス利用料 99 円、振込手数料 550 円（2026 年 10 月に確認）

今のチケットサービスは、そのままで

TicketDive・e+・LivePocket・TIGET などはそのまま使えます。出演者とのやりとりや出演者探しだけ Livie で、という使い方ができます。

公演ページには、外部のチケットサイトのリンクも載せられます。

※ 料金と手数料は 2026 年 11 月時点のものです

はじめ方

3 つの手順で、使いはじめられます

1

利用の申し込み

営業許可証など、店舗を運営していると分かる資料を添えて申し込みます。資料は審査が済んだらすぐに消去します。

→

2

運営の承認

会場の実在を確かめて承認します。契約 ID と、パスワードを決めるリンクがメールで届きます。

→

3

販売者登録

本人確認と振込先の口座を登録すると、公演を作れます（決済は Stripe）。

最初の公演は、公演の登録と出演者の招待を一緒にやります。

まずは次の 1 公演、出演者への資料共有から試してみてください。

ご案内・お申し込み：livie-app.com/lp/livehouse

お問い合わせ：近田 悠造　livie@annanannenna.com